

学校施設 利用有料化 継続審査へ

平成30年
12月定例会
12月7日～21日

12月定例会では、議案26件（人事案件1件含む）が提案され、25件を原案のとおり可決しました。

筑後市立学校施設（市内の小中学校）の利用については、現在無料である施設使用を有料化する条例案が提案されましたが、「継続審査」となりました。

一般会計補正予算では、今年度のふるさと納税の寄付見込みが増えたことによる返礼品経費や、二川小学校の改修費などが増額されました。

主な議案と質疑

筑後市立学校施設の利用に関する条例制定について

（全会一致 継続審査）

市立学校施設（市内の小中学校）の施設使用について、筑後市行財政健全化方針の「受益者負担の適正化」の観点から、現在無料である学校施設使用料について有料化することが提案された。総務文教委員会で「継続審査」となり、本会議でも同様に議決された（総務文教委員会の報告は4ページに掲載）。

問 使用料収入の試算額は、行財政健全化も分かるが、使用料を徴収する必要があるのか。撤回すべきでは。

答 試算額は年間100万円程度。免除規定も設ける。地域に開かれた学校ということで、地域団体（行政区や校区コミュニティ協議会等）や小中

学校のスポーツ団体が使う場合は、免除となる。実際に使用料を支払うのは、主に社会人のスポーツ団体となる。利用者は一定の負担を求めることが公平なことだと考える。

問 免除に関する規則は、規則の内容が示されない。と分らないが。

答 規則の中の免除規定は市で判断するが、利用団体への許可は学校となっている。現在、学校と最終調整をしている。



健康づくりのため学校施設を利用するスポーツ団体

議案等に対する賛否状況 ※賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

議案名	結果	大藪健介	石橋章	永松孝信	坂井久子	松竹卓生	辻義満	村上博昭	近藤佳治	富安伸志	北島一雄	貝田晴義	山下秀則	矢加部茂晴	中富正徳	坂本好教	田中親彦	貝田義博	弥吉治一郎	原口英喜	
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正	可決	欠席	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
市長、副市長及び教育長の給与に関する条例改正	可決	欠席	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
北部交流センター条例改正	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※原口英喜議長は採決には加わりません。 ○賛成 ●反対

平成30年度筑後市一般会計補正予算

（全員賛成 原案可決）
平成30年度の予算を、5億9222万円増額し、総額198億2128万円とするもの。

主なものとして、ふるさと筑後市応援寄付に要する経費について、今年度の寄付見込総額が増えたことによる返礼品経費や基金積立金等3313万円の増額、校舎等維持補修に要する経費について、二川小学校の平成31年度入学予定児童の増加に伴う教室改修費473万円の増額等があった。

他に、人事院勧告に準じる職員給料、勤勉手当の増額、特別職期末手当の増額のほか、障害者福祉サービス利用者等の増加に伴う扶助費等も盛り込まれた。

また、衛生センター長寿命化事業などについて、新たな地方債を活用するための財源組換えも行った。

た。

問 衛生センターの長寿命化のため工事費約1億300万円のうち9120万円を地方債に組み換えているが内容は。

答 公共施設等適正管理推進事業債という地方債ができた。充当率は90%で、約4割が交付税措置される予定。



好調なふるさと納税

問 二川小学校の教室が1教室不足するための改修だが、いつ入学者数を把握したのか。本来は9月に補正すべきでは。

答 随時把握をしている。転入転出の予定も見込まないといけないが、現時点で38人である。

人事案件1件（同意）

●公平委員会委員
高居結衣子（志）
（敬称略） 再任



緊急質問

10月に、長浜地区で民間業者により開催された「筑後小学校周辺地区街づくり」についての説明会について、議員から緊急質問の動議が提出され、市の関与について質問が行われた。

問 区画整理事業やその説明会について、市の関与は。

建設経済部長 計画は承知していたが、あくまでも民間事業者によるものであり、市は関与していない。